

こおりやま広域圏の市民活動を応援する広報誌

あしすとはあく

第73号

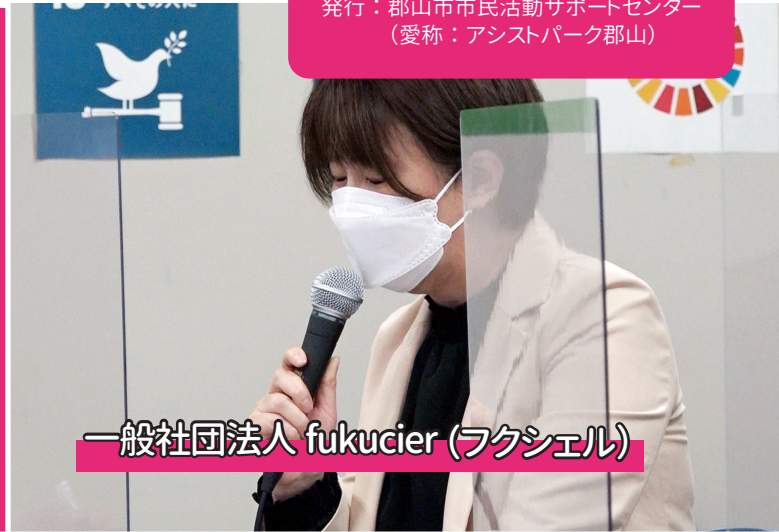
2023年 1月1日発行

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

特集

SDGs 新春座談会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



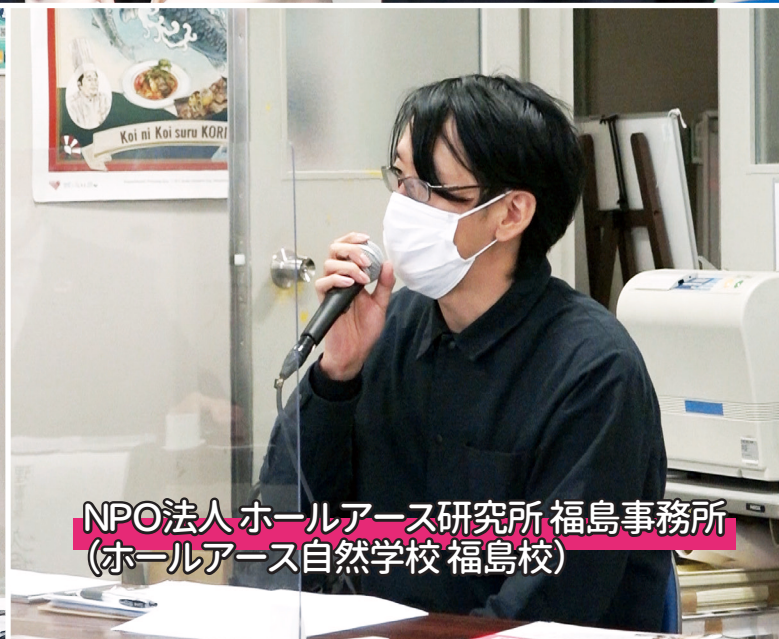
一般社団法人 fukucier (フクシエル)



持続可能な地域を実現するためのパートナーシップ・協働



公益社団法人 郡山青年会議所



NPO法人 ホールアース研究所 福島事務所
(ホールアース自然学校 福島校)

SDGs 新春 座談会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



公益社団法人 郡山青年会議所

久保田さん



出席者 理事長 久保田 雄大さん

公益社団法人 郡山青年会議所



Q(司会) 樋口 本日の座談会は、第1回の新春SDGs座談会を実施しました2020年12月から、数えて3回目になります。認知度に関しては、皆さんもご存じのように、今や聞かない日が無いほどに広がっています。そんなSDGsの時代を迎え、企業との協働を目指すNPOも増加し、社会的な価値の創造のため、多様な主体と新しい時代の協働の動きが全国的にも広がっています。

本日は、出席いただきました皆様のそれぞれの立場から、取り組みや持続可能な地域を実現するためのパートナーシップ・協働について掘り下げてお話を伺わせていただきます。

Q(司会) 樋口 それでは最初に、皆さんの団体の活動内容と関係する主なSDGsのゴールを教えてください。

久保田さん 当団体は単年度制で活動しています。令和3年度に実施した事業の「魅力発見おこりやま」というまちづくり事業は、SDGsのゴール4(質の高い教育をみんなに)(8(働きがいも経済成長も)12(つくる責任つかう責任)に該当します。また、「ライフライン」という青少年育成事業はゴール4と13(気候変動に具体的な対策を)になります。主なゴールは、4(質の高い教育をみんなに)ですね。

小林さん 私の所は、ゴール3(すべての人に健康と福祉を)です。介護保険などの公的サービスの補完的役割の必要性を感じ、高齢者や障がいのある方と、様々なスキルや経験をお持ちの定年退職後のアクティブシニアさんや子育て中のお母さん達とのマッチング事業を行っています。

NPO法人 ホールレス研究所 福島事務所
和田さん 活動では環境教育を中心に行っているのでゴールは、13(気候変動に

具体的な対策を)・14(海の豊かさを守ろう)・15(陸の豊かさを守ろう)、そして責任ある消費ということ(12(つくる責任つかう責任)です。環境問題は、SDGsの遙か前から叫ばれておりまして、我々が、一番関係して取り組んでいるのは、ゴール17(パートナーシップで目標を達成しよう)です。多様な分野の皆さんと様々な地域の課題を横断し、どのように共に協働し取り組めるか活動しています。

Q(司会) 樋口 SDGsに関する活動を進めていく際にどんな課題があるのでしょうか？

久保田さん 私たちは、郡山での活動をメインに行っているのですが、その私たちの活動が本当にSDGsのゴールに向かっているのかということが難しい部分だと感じています。

結局そこを見誤るとSDGsに取り組んでいるかのような、所謂、SDGsウォッシュという言葉で言われているようなことになります。

SDGsは、17個の目標だけではなく、この下に細かく分類されている169のターゲットもしっかりと確認をして、SDGsの本質というところを心がけて事業構築をすることが大事なのかなと感じています。

小林さん 私たちは福島県内で活動しています。多くの方に参加していただくために、どうして私たちがこの活動を行っているのかというのを個人やグループ、法人さんそれぞれに合わせて説明を工夫し、お伝えするようにしています。

SDGsを進めるにあたっての課題は、

一法人とか個人ですべて完結できる目標ではないので、官民連携であったり企業やNPOさんなどの協働というのは必須かなと感じております。私たちの場合は、協働するにはどうしたら良いのが課題だと思っています。

どこと、どのように連携したら良いのか分からないこと、具体的な行動に移すにはどうしたら良いのかと悩みながら進んでいるのが現在の状況です。

和田さん 私の団体だけでなく、NPOがところどころもあると思うのですが、NPO自体がやとビジネスのパートナーとして、地域社会の中でキーマンな役割を持つ存在として認められるようになってきたのが、ここ数年という印象を受けます。

NPOの立場から、企業さんなどに提案やオファーを持ちかけても、まだまだ手を組むまでの道程が遠いと感じています。



出席者 代表理事 小林 しのぶさん

一般社団法人 fukucier(フクシエル)





出席者 理事/代表 和田 祐樹さん

NPO法人 ホールアース研究所
福島事務所 / ホールアース自然
学校 福島校



もう一つは、企業や行政の皆さんの年間の動きであるとか、どういった事情があるのか、予算がいつの時期に決まるのか、そういったことも全然知らない中でNPOの出来ることだけを一方的に差し出しても難しいのかなと感じています。

地域もまた同じで、地域の実情を知らずに、我々NPOの事情だけ押し付けてしまうと地域にとってやはり負担になるというようなことが起こります。

お互いのことをなかなか知る機会が無いところに課題があるのかなと思っています。

①(司会) 樋口 製品とサービスを通じて社会に貢献する企業と社会の様々な課題に取り組むNPOの間では、どのような連携・協働をしていけるのでしょうか？

久保田さん 郡山青年会議所は、令和2年に創立60周年を迎え「中・長期

ビジョン」として本年度からの5年間の未来ビジョンを策定しております。

この中でSDGsのゴール17については、あらゆるパートナーと社会・経済・環境の大きな3つの軸の分野で連携・協働していくことで持続可能な街の未来に繋がってゆくものです。

令和3年度は、先ほどご紹介したまちづくり事業で、新たな街の魅力や価値を創出するために様々な企業や団体の皆さんとコラボレーションをする場を提供したいということで、これも一つの関わり方かなと思います。

もう一つ、令和3年度、新たな連携として、社会福祉協議会さんと包括連携協定を結びました。災害時に、社会福祉協議会さんには様々なところから情報が下りてくるんですね。

これまで災害が起きたとき、私達が手伝いたくても実際の被害状況の把握が出来ませんでした。情報共有やボランティアのマンパワーの面で連携できるような仕組みです。こうした連携協定を結ぶというのも一つの方法かと思っています。

小林さん 私達は、常に社会課題の現場に向き合っていると思いますが、課題解決のリソースを持っている企業の皆さんに一方的に支援をもらうのではなく、有益な価値を相互に与え合うところが、ご自分のかを一緒に探すことで新しいサービスの開発につながったケースがあります。

例えば、双方のチラシを配布する小さな連携から始まり、企業さんの場所をお借りして介護相談会を開き、関係がより深まることで福祉の困り事の解決を共に考え、新たなサービスや商品を開発することが出来ています。

和田さん 私からは二つありまして、一つ目は、その団体や業界がどうだという議論をするのではなく、あるべき未来や方向が同じならば、その未来に向けて、共に貢献するパートナーとして、手をつなぎあうことが大変重要ではないかと思っています。

もう一つは、我々NPOの一番の強みは課題の発見力です。当事者の方との距離が近い。私であれば自然との距離が近いですし、子どもとの距離が近いので、その発見力は高いのですが、いかにせん解決に必要なリソースが足りない。かつてはCSRという形で企業さんの収益の中から社会的責任を果たす協力がありました。今後は、CSVという形で事業を通じて社会変化に伴う課題解決と一緒に担えるパートナーシップとなり、発見力と解決力の相乗効果が生まれるのではないかと思います。

(司会) 樋口 ありがとうございます。今後も、パートナーシップを更に広げ、住みやすい地域づくりの輪を広げていきたいと思います。



司会 NPO法人うつくしまNPOネットワーク 理事長 樋口 葉子

新春SDGs座談会 SP 動画



座談会特設ページにて、全編を動画でご紹介！
各団体の活動もご紹介します！

特設ページをご覧ください♪



座談会テーマ

「持続可能な地域を実現するためのパートナーシップ・協働」



NPO法人を設立しませんか！

設立相談について、随時受付中！

◆NPO法人の「収入」は、市民による自立した自由な経営を目指す視点から、特定の事業収入のみに依存せず、会費や寄付金の収入、自主事業などの安定した財源と、一時的で安定しないがまとまりのある受託事業や補助金・助成金など、上手にバランスを取ることが大切です。

◆でも、ご心配なく、NPO法人の主な収入と確保・運営方法について詳しく説明します。

こんなお手伝いをしています。

- ① 設立前に、NPO法人ならではの収入の説明とその運営方法を説明し伴走します。
- ② 会費や寄付を増やして安定した財源と自由な活動のコツを伝授します。
- ③ NPO法人制度や設立方法の説明
※出前講座も実施しています

相談無料/予約制

●多文化共生社会の実現

●SDGsの推進

●クラウドファンディング活用

専門相談会



相談テーマ：多文化共生社会の実現

専門相談員

三田眞理子

1/31 火

2/28 火

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ：SDGsの推進

専門相談員

鷲谷 恭子

1/25 水

2/22 水

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ：クラウドファンディングの活用

専門相談員

中瀬 亮兵

1/26 木

2/16 木

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



町内会への出前講座



こんな出前講座が出来ます！

- ① 皆さんのご希望を伺って！
- ② ピッタリの出前講座を作ります！



郡山市市民活動サポートセンター
〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目23番7号
☎024-924-3352
ap@utsukushima-npo.jp

町内会を応援



町内会の皆さんの活動を応援するために「出前講座」をいたします！
LINE 講座も！お任せください！

問 郡山市市民活動サポートセンター

SDGs 講座や脳トレ講座もお任せください！



写真提供：郡山医療生活協同組合（大槻町御花畑町内会様）

会計相談を受付けています！（予約制）

年度末に向けて、会計処理は大丈夫ですか？
郡山市市民活動サポートセンターでは、NPO法人の皆様の会計相談の受付しています！



無料

予約制

月火水
午後

NPO 法人の会計相談が市役所内で受けられます。

（簿記はサポート対象外） 問 郡山市市民活動サポートセンター

発行 郡山市市民活動サポートセンター
（愛称：アシストパーク郡山）

開館時間 8:30-17:15 休館日 土、日、祝日、年末年始

電話/FAX 024-924-3352

メールアドレス ap@utsukushima-npo.jp

ウェブサイト https://assistparkkoriyama.net/

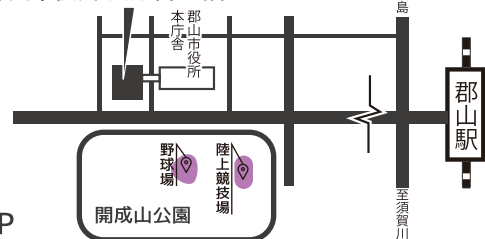
住所 〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目 23 番 7 号
郡山市役所 西庁舎 3 階

運営委託 郡山市市民部市民・NPO 活動推進課

運営受託 NPO 法人うつくしまNPOネットワーク

郡山市役所 西庁舎 3 階



MAP

Web

Twitter

Facebook

